

200年住宅 国土交通省超長期住宅先導的モデル事業

築60年民家の移築再建・高断熱改修

中間施工状況・現場見学会&住宅セミナーのご案内

■ 現場見学会 2月7日(土), 8日(日) 10:00~17:00
常陸太田市瑞龍町 F様邸(下図参照)

■ 住宅説明会(セミナー) 2月8日(日) 午後2時~3時45分
常陸太田市 生涯学習センター講座室
(パーティホール向かい側)

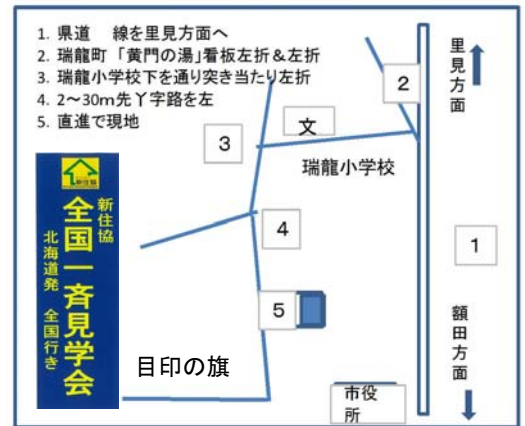
お奨めコースは、
日曜日に現場を見て
→セミナー会場へ



▼趣意 瑞龍町のF邸建築工事は、200年住宅・国土交通省超長期住宅先導的モデルに採択された事業です。これまで、日本の住宅は平均30年も経ないで解体されてきました。今、地球環境の保全が叫ばれ、省エネ(省CO2)省資源という観点からも住宅の建て方が問われる時代になりました。F邸は、より暮らしやすい快適性も重視しながら長期にわたりその家が使われるような配慮がなされた家として計画されています。このセミナーは、F邸建築をモデルに、これからの家づくりがどうあるべきか、一つの提唱としてとらえて頂こうというものです。(写真左から、解体前の住宅、計画図、1.15現在の状況)

▼住宅セミナー 予定内容

- 14:00 はじめに 高断熱住宅のすすめ
(高断熱住宅はなぜ省エネで快適か)
NPO新住協理事 統括事務局長 会沢 健二
- 14:30 築60年民家の移築再建・高断熱改修への経緯
建築主 深津 澄世
- 14:50 超長期住宅先導的モデル事業「常陸の家」建築計画
設計監理 豊田建築設計 豊田 善幸



超長期住宅とは頑丈な建物をつくり、生活空間を便利で快適にすることだけではなく、200年以上維持できる住み継ぐシステムを内在する必要があります。

次の世代に家への思いを引き継ぐことや、町並みを保存することなどもそれに当たります。

ここでは、建物の性能や地域の気象条件に合わせたデザインなど、200年の耐久性を目指して考えた具体例を紹介したいと考えています。

▼セミナー参加申込み 特に必要ありません。
定員40名、会費も 無料です。

- 15:30 質疑応答
15:45 終了予定



主催 NPO法人新木造住宅技術研究協議会

仙台市若林区かすみ町24-10

022-781-1371

Mail: aizawa@sjinjykyo.gr.jp